

市民文教委員会

## 浜松版アーツカウンシルについて

### 1 目的

浜松版アーツカウンシルとしての中間支援組織を設置することにより、文化の創造性がもたらす効果を観光振興、教育、福祉等に波及させ、文化活動の経済的自立及び地域課題解決に向けた活用を目指す。

### 2 背景

- ・国が示す「文化芸術の振興に関する基本的な方針」において、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む活動を支援することが求められている。
- ・文化芸術部門の専門人材を起用し地方公共団体による文化政策の推進体制（アーツカウンシルの設置）の強化を目指す文化庁の支援方針が示されている。
- ・都市の将来像である「創造都市・浜松」の実現を目指すために、アーツカウンシル設置により、文化団体などの市民団体が自立的で活発な活動の継続を目指す。

### 3 事業概要

音楽に留まらない文化活動活性化を目指し、本市の文化活動の現状把握のための基礎調査及び現状分析を行うことで、市民の文化活動が活性化するよう支援スキームを構築する。

#### (1) 中間支援組織の運営

専門人材としてのプログラムディレクター及びプログラムオフィサーを登用し、浜松市文化振興財団の役割である中間支援機能の強化にむけて、財団内組織として運営する。

#### (2) 支援対象団体の基礎調査及び現状分析

市が支援基準及び支援内容を策定するため、支援対象団体の基礎調査及び現状分析を行うとともに、課題解決策を検討する。

#### (3) 支援事業の企画検討

市民が主体となって展開する創造的活動や文化芸術活動を支援する事業を検討する。

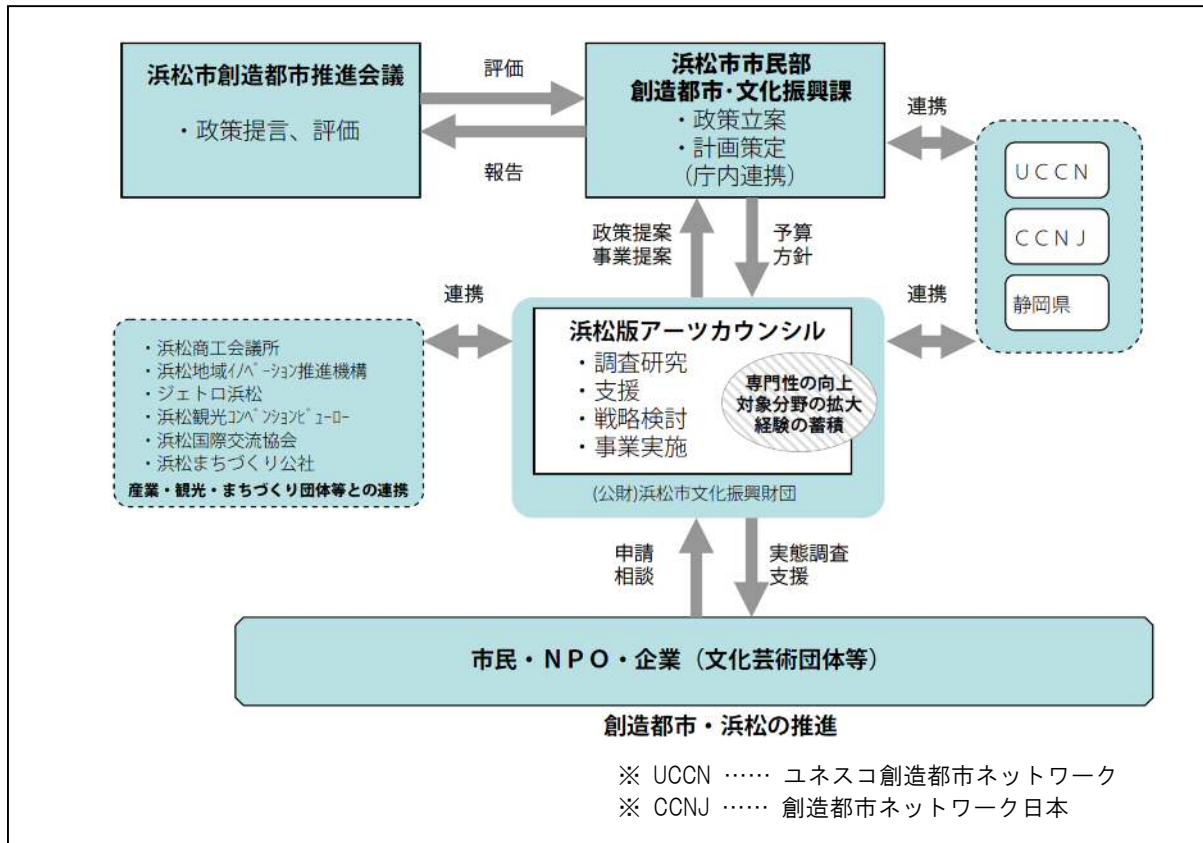
#### (4) リーディング事業の企画検討

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据え、本市に相応しい文化事業の展開に向けた実施計画を立案する。

### 4 設置時期

平成 30 年 4 月 1 日から業務開始

## 5 浜松版アーツカウンシルの推進体制（イメージ）



## 6 専門的人材の登用について

浜松版アーツカウンシルのディレクターは、文化芸術の創造性がもたらす効果をまちづくり、観光、産業振興、教育、福祉等に波及させていく役割を担うことが求められるため、文化芸術やアートマネジメントに関する知識経験のみを重視するのではなく、高いマネジメント能力と柔軟な思考、幅広い分野に対応できるスキルと人脈を有していることが求められる。

こうしたことから、財団ホームページにとどまらず、全国的な文化に関する情報サイト（(一社)地域創造、ネットTAM等）や転職サイトなどを活用して平成29年10月16日(月)～11月10日(金)にかけて公募を行った。全国から17名の応募をいただく中で、**元 松竹(株)経営企画部オリンピックパラリンピックIR事業推進プロジェクトチーム マネージャー 菱沼妙子氏**を浜松版アーツカウンシルのプログラムディレクターとして内定した。



菱沼 妙子 氏

### 【菱沼妙子氏 略歴】

上智大学外国語学部英語学科卒業、斑尾のジャズフェスやMt. Fuji Jazz Festival をプロデュースしたほか、米国のインターネット・エンターテインメントサービスのベンチャー企業の日本法人の立ち上げを行う。以降、松下電器産業(株)、アップル社などを経て、松竹(株)では歌舞伎の海外公演を手掛けるほか、山梨県峡南地区、市川三郷町、京丹後市、青森県、岐阜県、横浜市などの地域振興プロジェクトを担当。音楽から伝統芸能、コンテンツビジネスまで企画・プロデュースに関する豊富な実績を持つ。

2017年4月には内閣府の「第10回観光戦略実行推進タスクフォース」に有識者として参加し、『文化による観光活性化施策について』をテーマとしたプレゼン・提言を行う。